

「あいち生態系ネットワーク協議会地区間交流会」を開催しました

県内各地域の生態系ネットワーク協議会の構成団体間の相互交流や、学識経験者・専門家との出会いを通して、生物多様性の保全活動が更に活性化されることを目指し、1月27日(土)に ウィルあいち において地区間交流会を開催しました。

○ 第1部 テーマ別グループディスカッション

県内各地からの参加者約100名(NPO・企業・行政・大学等)が『希少種・外来種対策』『生態系保全策』『ビオトープ』『地域活性化』の4つのテーマに分かれ、ファシリテーター(学識経験者等)を中心に意見交換を行いました。



グループディスカッションの様子

○ 第2部 ファシリテーターからのコメント(全体会)

総括の武田^{ただゆたか}穰氏(名古屋大学名誉教授)、希少種・外来種対策の岸沢^{せりぞわしめんすけ}俊介氏(愛知教育大学名誉教授)を始め、ファシリテーターから第1部のまとめや「どんな生態系を目指すかは地域での合意が必要」

「活動を続けるためには楽しみも必要」など、今後の活動に向けた示唆をいただきました。



コメントを聞く参加者の皆さんからは、「様々な立場の人と気軽に議論できた」など、96%の方から「交流会に参加して良かった」との感想が寄せられました。

県では引き続き県内9地域の生態系ネットワーク協議会の相互交流を促進し、生物多様性保全活動の更なる活性化を目指していきます。